



# 賀茂地域協議会



発行：賀茂地域協議会 電話：43-1883 E-mail：kamo@town.misasa.tottori.jp

## 元気な声、明るい笑顔！！ 伝統の集落大運動会開催

第25回目を迎えた若宮大運動会、そして第22回目の助谷大運動会は、ともに4月22日に開催されました。賀茂ではもはや春の風物詩といった観があります。そして第3回を迎えた本泉のグラウンドゴルフ大会（4月29日）も恒例行事となりつつあります。

若宮の運動会は、過去には国道の横の田んぼで行われ、現在は公民館前広場で行われています。

また、助谷は、圃場の基盤整備を契機に神社横を広場に整備し、毎年運動会が開催されるようになりました。最近では、本泉でも真砂土採取が終わり、公園として整備したことからグラウンドゴルフ大会が始められました。それぞれの集落が工夫を凝らし集落内の交流に努められています。それぞれの集落が元気になることが地域の活性化につながるのではないのでしょうか。



助谷大運動会



若宮大運動会



本泉G G大会



### 賀茂公民館の 使用について

賀茂公民館の使用は、電話等で地域振興課(43-3515)に必ず申し込み、鍵は当日、役場宿直室で借りてください。使用後は、きちんと片付け、ゴミの持ち帰りにもご協力ください。鍵の返却は役場宿直室へ。

# 泉の里特産市

5月13日(日)から今泉のとんがりハウスにおいて、恒例の「泉の里特産市」が始まりました。販売品目は、朝採り野菜、くんせい製品、泉の里コシヒカリなどの予定です。



開催日は、毎月第2・4日曜日の午前中で、8月までは7:00~12:00、9~12月は8:00~12:00です。とんがり食堂も同時に開店!! されます。営業時間 9:00~13:00。メニューは次のとおりです。

- ： 泉の里うどん定食 (500円)      泉の里うどん (400円)      。
- ： モーニング (300円)      コーヒー (200円)      。

皆さんが立ち寄ってみてください。ここにも賀茂の元気!

## 賀茂の歴史を覗く!!!



神社紹介の第9弾、今回は「恩地神社」を訪ねます。

「恩地神社」は、集落の上手の山にあり、鳥居がなかったと思います。

「鳥取県神社誌」(昭和9年出版)によ

ると、祭神は天穂日命(アマノヒノミコト)とされます。アマノスとサノオが誓約をしたとき、アマノスの右のみずらに巻いた勾玉から天穂日命(アマノスの第2子)が生まれたそうです。「葦原中国平定のために出雲の大国主神の元に遣わされたが、大国主を説得するうちに心服してその家来になってしまい、地上に住み着いて、3年間高天原に戻らなかった。その後、出雲に伊弉諾を祭る神魂神社(島根県松江市)を建て、出雲国造らの祖神となった」とされます。

任務を遂行しなかったというのは古事記や日本書紀による記述ですが、出雲国造の神賀詞(カヨコト)では、アマノヒは地上の悪神を鎮めるために地上に遣わされ、地上の様子をアマノスにきちんと報告し、子のアマノヒドリ及び剣の神ツツミとともに地上を平定したとされます。

こちらでは地上を平定した偉大な神とされています。

天穂日命は、農業神、稲穂の神、養蚕の神、木綿の神、産業の神などとして信仰されており、出雲だけでなく、全国で祀られています。



河村郡神社御改帳では、本社は妙見大明神、末社には三宝荒神、山之神、波穂気大明神、住吉大明神、伽藍荒神が祀られているとされます。上野神社では、明治大昭の神社合併の際、鳥居を牧に持って出たという話もありますから、合併の際にいろいろと整理されたので、鳥居は取り壊されたのではないかと想像します。

## 賀茂地域協議会の動き

自治交流部会、経済振興部会、生活環境部会では、6月に第2回の部会を開催し、具体的な事業を検討することになっています。

当面の行事としては、7月1日(日)、賀茂地区泥んこバレーボール選手権森賀茂神社奉納大会を開催します。場所は、賀茂神社前の田んぼ(菊留茂訓さん所有)です。

また、集落要望の取りまとめを地域協議会で行いたいと思います。6月下旬の合同陳情会、7月の地域づくり懇談会を行う予定です。ご意見、ご要望がありましたら、近く理事会を開催しますので、区長さんを通じて、賀茂地域協議会へお知らせください。

「知恵を出し合い、汗をかき、時には身銭を切っても」の精神で、いろいろなことに取り組みますので、小さな悩みごと解決からみんなの問題まで、農業、環境、教育など生活に関係することをじっくり話し合いながら、より住みよい地域にしていきたいと思います。

## 西小5年生田植えで国際交流!

恒例となった西小5年生田植え体験が5月24日中学校プール横の田んぼで行われました。例年になく、今年の子どもたちは、行儀よく上手に植えると指導に当たられた本泉営農組合の皆さんが口をそろえて話していらっしゃいました。



さらに、テレビ局、新聞社が数社やってきたので、何の騒ぎかと思ったら、やがて、台湾からの子どもたち10数名が登場。西小の子どもたちといっしょになって、田植えをしました。

台湾の子どもは、田植えを初めてする子ばかりで、なかには本当に蛙を怖がる子どもさえいました。

